

— 創立40周年記念式典 —

組合員、関係者らと共に

更なる飛躍を誓う！

ACTIVE KUMIAI

## 山梨県カーリサイクル協同組合

山梨県カーリサイクル協同組合(保坂勇理事長)は、去る2月22日(金)、ホテル談露館にて「創立40周年記念式典」を開催した。

本組合は昭和45年、全国中古自動車部品連合会の「山梨県支部」として、県内業者16社で組織化した。その後、これまで有償にて取引されていた使用済み自動車、法改正により、処分に費用が発生する廃棄物としての位置付けとなり(使用済み自動車の逆有償化)、各社には産業廃棄物収集・運搬の許可業者としての登録が義務づけられたことにもない、許可業者の資格取得のために県の関連機関からの協力を得て、組合員が一致団結し、当時の組合員全社が山梨県の許可業者としての資格を取得することができた。そして平成10年、カーエアコン等の処理時に発生するフロン共同処理事業、また使用済み自動車から出る資源の共同販売事業を主とする「山梨県カーリサイクル協同組合」として法人化した。

本組合では、以前より、従来の組合事業に加え、自動車リサイクル法の法令遵守を目的とする適正処理の推進、不法投棄された使用済み自動車やタイヤ等の回収・処理を行うボランティア活動にも積極的に取り組んできた。また、東日本大震災時においては、被災地で使用不能となった自動車の運搬処理作業にも協力してきた。



山梨県カーリサイクル(協) 組合員一同

今回の式典に際し、保坂理事長は「これまで、当業界では様々な困難や課題があった。しかし、そのような時こそ組合員一人一人が一致団結し、また、関係団体からの協力にも助けられ、その困難や課題を乗り越えることができた。今後も組合員の組織力、関係団体からのご支援等により、当業界が更なる飛躍を果たせるように努力していきたい。」と述べていた。



挨拶を述べる保坂理事長